

2021

1

No.320

「だれもが その人らしく 安心して暮らせる福祉社会の実現」をめざして

いばらきの 社会福祉

Social Welfare of Ibaraki

ふくし“きらり人。”
任命しました！



ふくし“きらり人。” 福本 麗菜 さん

Contents

- 2 3 会長年頭あいさつ
コロナ禍における県社協の取り組み ほか
- 4 5 「災害初期対応チーム」メンバー研修会
福祉教育推進セミナー ほか
- 6 7 地域福祉活動レポート
社会福祉法人
茨城補成会（茨城町）

- 8 9 ふくし“きらり人。”
福本 麗菜 さん
- 10 市町村社協職員リレートーク
- 11 インフォメーション
- 12 わかち合おう小さな善意

はんどちゃんの紹介

はんどちゃんは、「福祉コミュニティづくり県民運動」のキャラクターとして茨城県社会福祉協議会、茨城県内の市町村社会福祉協議会を中心に活躍しています。

ふくし“きらり人。”とは一
福祉の仕事に対するイメージアップ
を図るため、福祉施設や事業所で働
く方や福祉を学ぶ学生のうち、きら
りと輝く人物を“きらり人。”とし
て任命します！今後、“きらり人。”
には、県社協の実施する事業を通じ
て福祉の魅力を伝えていただく予定
です。



新年あいさつ



新年明けましておめでとうございます。

茨城県社会福祉協議会の活動に、日頃から深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が、人々の生活はもとより、社会、経済活動に大きな影響を与える中、私たち社会福祉関係者は、高齢者や障害者、児童、生活に困難を抱える方など支援の必要な人々の生活を支えるため、社会に必要な*エッセンシャルワーカーとして、コロナ禍においても、福祉サービスを休むことなく提供しています。

また、住民の皆様による福祉活動やボランティア活動は、休止や延期など自粛を余儀なくされ、孤立化への対応も求められています。

一方、平成の30年間で、急速な少子高齢化や地域のつながりが希薄化し、老々介護や認知症問題をはじめ、増加する単身高齢者への支援や子どもの貧困問題、子育て支援など、様々な生活課題や福祉課題はさらに複雑・深刻化しました。

さらに、今日では、自然災害が多発し、未曾有の災害への備えも重要となっております。

こうした状況をふまえ「地域共生社会」の構築が進められる一方で、全国各地では感染者とその家族、医療と介護の従事者への誹謗中傷やいわれなき差別も顕在化しました。「ウィズコロナ」時代の新たな生活様式の提案もあり、共生社会構築の実現に向けて、なお一層の取り組みの必要性も明らかになっています。

また、人口減少による福祉・介護分野の人材不足は、本県も含め全国的に深刻な状況です。すべての利用者が安心できる、安定した福祉サービスを続けるためには、人材の養成・確保に取り組まなければなりません。

茨城県社会福祉協議会は、こうした社会の変化に対応しながら、引き続き地域の皆様と連携し、「誰もが 人として尊厳を持って その人らしく 安心して暮らせる福祉社会の実現」をめざしてまいります。

今後とも、皆様方の力強いご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

一日も早く落ち着いた生活を取り戻し、明るい笑顔が見られる年となりますよう、ご祈念申しあげまして、新年のご挨拶といたします。

*エッセンシャルワーカー

「エッセンシャル (Essential)」は、日本語では「本格的な」「不可欠な」という意味で訳されます。「エッセンシャルワーカー」とは、「必要不可欠な労働者」の意味になり、私たちが日常生活を維持するために無くてはならない職業についている人たちを指します。

コロナ禍における茨城県社協の取り組み

コロナウイルス (COVID-19) の感染拡大に伴い、職場環境も大きく変化しており、ソーシャルディスタンスを保つことが求められています。そのような中、県社協でも感染リスクを避けるために集合型の研修や会議の開催延期・中止を余儀なくされてきました。

しかし、県社協では、このコロナ禍においても地域の皆様の生活をサポートし続けるエッセンシャルワーカーとして、事業を継続させる使命があります。県社協では試行錯誤の末、会議や研修をオンラインという新しい手法で研修や会議を実施していくことにしました。今回は県社協で導入した、遠隔でも複数人でミーティングができるWeb会議システム(Zoom)を活用した、会議や研修等をご紹介します。今後も Web 型の研修等を開催いたしますので、是非ご参加ください。

研 修

社会福祉事業従事者研修は、予定していた集合研修の実施本数を減らすなど、研修カリキュラムを変更しこれまでに19本のビデオオンデマンド(VOD)配信による研修を行っています。事前に講師の講義を収録し、設定した配信期間中はいつでもくり返し視聴できるようにしました。自分の都合のいい時間に、場所を選ばず受講ができるので好評です。

また、Web 会議システム (Zoom) によるライブストリーミング配信による双方向型研修も実施しています。

会 議

これまでは、一堂に会して集合型の会議を開催していましたが、大人数を収容できる一部の会議をオンライン会議で行うこととし、インターネットを介して映像・音声・資料を共有しながら実施しています。大人数での使用が可能で、テキストチャットやファイルの送受信も可能になっています。



福祉のお仕事フェアオンライン

福祉・介護分野の「就職フェア」をオンラインで開催しました。これまでは、会場を借用し、各福祉施設・事業所が対面で面談を行っていましたが、今回は特設 WEB サイトに、期間限定で、県内の福祉施設・事業所の紹介、求人情報などを掲載するとともに、各施設・事業所による PR 動画やふくし“きりり人。”による福祉のお仕事についての魅力 PR 動画を配信しました。



福祉のお仕事フェアホームページのトップ画面

社会福祉事業従事者研修のご案内

新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、オンライン配信研修を中心に実施しております。自分の好きな時間に、好きな場所で、何度も繰り返し視聴できます。

ぜひ、この機会に、社会福祉事業従事者研修システムをご活用いただき、IT を活用して学びを深めませんか。

これからの配信予定の動画研修

- 中堅職員研修 (11/6 ~ 1/18 まで配信)
- 福祉現場における事業継続計画 (BCP) 作成研修 (11/18 ~ 1/25 まで配信)
- タイムマネジメント研修 (11/16 ~ 1/12 まで配信)
- ファシリテーション研修 (12/10 ~ 2/8 まで配信)
- 保育担当職員研修 (1/8 ~ 2/25 まで配信)
- 給食担当職員研修 (12/22 ~ 2/15 まで配信)
- 決算実務講座 (1/18 ~ 3/19 まで配信)
- 発達障害研修 (1/25 ~ 3/22 まで配信)

※研修システムの詳細は、茨城県社協のホームページからご覧ください。

https://www.ibaraki-kenshu.jp/kenshu_user/kenshu/

ご不明な点は、お問い合わせください。

問 福祉人材・研修部 TEL : 029-244-3755



研修システムの QR コード

茨城県内社会福祉協議会の災害対応力向上を目指し、『災害初動期対応チーム』が発足します!!

台風19号の被災から1年が経過しました。

台風19号では、県内の広い範囲が被災し、県内15市町に人的被害が、建物被害については42市町村に及びました。

また、特に被害の大きかった5市町では、社会福祉協議会が中心となり「災害ボランティアセンター」が設置され、延べ12,647名の方がボランティア活動に参加し、センターの運営には延べ1,405名の県内社会福祉協議会職員が活動しました。

近年の災害は、広域かつ同時多発的に発生することがあり、また、被災地の復興には多くの支援が必要となりますが、新型コロナウイルス感染下では県外から支援者が来県することが困難な状況が想定されます。

このような中、今後起こり得る災害への備えとして、本会では「災害初動期対応チーム」を発足し、県内の社会福祉協議会職員を対象にメンバー養成研修を開始しました。

今後、発災初期の混乱期を、災害初動期対応チームのメンバーが中心となり、迅速に支援をすることを目指します。

県内社会福祉協議会がオール茨城として被災地支援にあたるよう、今後も支援体制作り努めてまいります。



チームメンバーを中心にオール茨城で支援を行います

いばらきコープ生活協同組合と「災害時における資機材の運搬に関する協定」を締結

広域かつ同時多発する災害に備えるため、災害ボランティアセンターで使用する資機材の分散配置（県内9カ所）を本年度進めておりますが、各拠点から被災地までの資機材の運搬をスムーズに行う必要があります。

先般、いばらきコープ生活協同組合様から、日頃配達に利用する車両を使用した災害時の資機材運搬について、ご協力いただけることとなり、「災害時における資機材の運搬に関する協定」を10月12日に締結いたしました。

いばらきコープ生活協同組合様の配送拠点は、県内13カ所あり、いずれも最低1台は予備車両をお持ちとのこと。また、日頃から配達に関わり、地元の道を熟知しておられ、この協定締結により、災害発生時には、被災地までの資機材運搬が迅速に行われることとなります。

今後、この資機材を活用することが無いに越したことはありませんが、万が一の備えが整ったことは、大変ありがたく存じます。



いばらきコープ生活協同組合
鶴長代表理事理事長（左）と本会森戸会長（右）

令和2年度福祉教育推進セミナー

10月29日（木）茨城県市町村会館において福祉教育推進セミナーを開催しました。

県内から社協職員や学校関係教職員等54名の参加があり、神奈川大学教授齊藤先生の講演、茨城キリスト教大学の池田幸也先生のコーディネートによるシンポジウム等を行いました。

参加者からは、潜在的ボランティアに目を向けることや地域とのつながりの大切さを改めて実感したなどの感想をいただきました。今後も、県内の福祉教育担当者との連携やセミナーの充実を図ってまいります。



齊藤先生の講演の様子

無資格・未経験から目指せるプロの仕事 ～福祉の仕事を無料で紹介しています～

茨城県福祉人材センターでは、茨城県から委託を受けて、福祉・介護・保育など、福祉分野全般の無料職業紹介を行っています。

来所による窓口での相談の外、インターネットを通じて、「福祉のお仕事」ホームページからの求職登録も受付けています。

求職登録の外、福祉の資格に関する情報や、福祉に関する統計情報なども掲載されています。

福祉のお仕事に興味・関心のある方は、ぜひ一度ご覧ください。

問 茨城県福祉人材センター（無料職業紹介所）

TEL：029-244-4544 FAX：029-244-4543



福祉のお仕事

検索



令和2年度 福祉サービス苦情解決研修会開催のお知らせ

茨城県運営適正化委員会では、福祉サービスの利用者等からの苦情に適切な対応をするため、事業所の福祉サービス苦情解決責任者等を対象とした、苦情の現状や解決方法についての研修会を開催しています。

今年度は、令和3年3月2日（火）に、ザ・ヒロサワ・シティ会館 大ホールで行う予定です。

なお、研修会の詳細や参加申込方法につきましては、1月下旬に本会ホームページでご案内いたしますので、皆様のご参加をお待ちしております。

問 福祉事業部 TEL：029-244-3147

令和2年度茨城県介護支援専門員実務研修受講試験の結果(10月11日〔日〕実施)

今年度の受験者は851名で、そのうち合格者は148名、合格率は17.4%という結果になりました。

＜職種別合格者数構成比率＞

職 種	合格者数(人)	構成比率(%)	職 種	合格者数(人)	構成比率(%)
介護福祉士	85	57.5	理学療法士	9	6
看護師	13	8.8	作業療法士	6	4
社会福祉士	11	7.5	栄養士・管理栄養士	6	4

広告

お客様や従業員様の為に ウイルス対策しませんか？



シリコンバレーで開発された
世界最強レベルの空気清浄機 ※1

エアドッグ X5s

メーカー希望小売価格128,000円（税抜）

今なら→ **96,000円（税抜）**



サイズ 重量10.7Kg
H65cm × W31.6cm
× L30.6cm

*1 微細粒子の除去能力とフィルター性能低下率をもとにした能力

*2 全国の20代～50代の男女(医療従事者) 1042名への空気清浄機10商品を対象にしたサイト比較イメージ調査 提供元:ゼネラルリサーチ

販売会社：株式会社トゥーコネクト 東京都港区新橋2-9-16-7F
営業受託会社：株式会社バッファロー・IT・ソリューションズ（問い合わせ先）
東京都千代田区丸の内1丁目11番1号PCP丸の内15階

TEL：050-5491-2295 FAX：03-4213-1141 問い合わせ窓口 平日9:00～18:00
担当：高野、伊藤、渋谷

BITSWF104569

○ウイルス(0.1μm)を99.8%除去
0.0146μmの微細粒子を除去

○フィルター交換不要(清掃のみ)
ランニングコスト **0円**

○**42畳**のスペースを**30分**でキレイに

○医療従事者が選ぶ空気清浄機1位※2

○宮内庁 三の丸尚蔵館で導入

○医療・薬局・介護業界によっては
補助金申請が可能です。

※補助金には審査があります。詳細は各自治体へお問合せ下さい。

お問い合わせはこちら ⇒ 050-5491-2295

お問い合わせ時に「茨城県社会福祉協議会広報誌 を見た!」とお伝えください。
パンフレット・資料のご要望はこちら⇒【 takano-k@melcoinc.co.jp 】 担当 高野



はんどちゃんネットワーク運動
地域福祉活動
レポート!

令和2年10月22日取材



就労支援事業所 ビストロ・ラ・ポルト・アミ(水戸市)

「レストラン就労支援という 新しい支援のカタチ」

～憧れのレストランでの仕事実現～

子どもたちが選ぶ「将来なりたい職業ランキング」に例年上位に挙がるのが、シェフやパティシエなどの料理に関する仕事。テレビドラマなどの影響もあるのですが、私たちの食欲を満たし、心を豊かにしてくれるそんな素敵な仕事は子どもたちのみならず、誰にとっても尊敬の対象であることは間違いありません。今回の地域福祉活動レポートでは、障害を持った子どもたちの「食」に関する仕事の実践的な実習体制とサポート体制で、フレンチレストランという素晴らしい夢の舞台の職業提供を実現させているビストロ・ラ・ポルト・アミ（水戸市）をご紹介します。

～本格的フレンチを志向するレストラン～

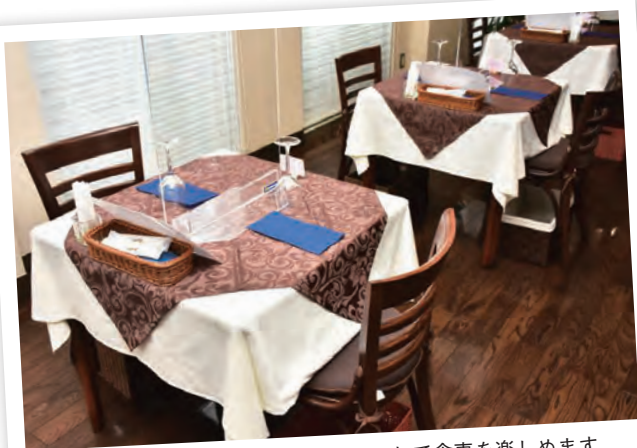
ビストロ・ラ・ポルト・アミは水戸市東部の郊外に位置し、洗練された建物と雰囲気ある佇まいが特徴のフレンチレストラン。フランス語で「ポルト」は扉、「アミ」は仲間を意味し、仲間たちとの出会い、そして人生への扉を開くお手伝いの場になればとの想いを込め、3年ほど前にオープンいたしました。席数も30席あまりと大きなレストランではありませんが、逆にそのコンパクトなサイズがアットホームな雰囲気を醸し出し、お店には開店と同時にたくさんのお客様が来店し日々賑わいを見せています。カジュアルな雰囲気ながら常陸牛などの地元食材をふんだんに使用し、四季



洗練された外観が特徴です



四季折々の食材を使い季節感・独創性を表現したフレンチ



シックな雰囲気の店内、リラックスして食事を楽しめます



明るい笑顔で元気にお客さまを接客

折々の季節感や独創性あふれる本格的フレンチの提供を心掛けている正統派レストランです。

～笑顔の接客がお客様の心に響く～

ビストロ・ラ・ポルト・アミの一日の始まりは朝礼から。研修生とスタッフが一堂に会し、元気なあいさつが響く店内は一気に活気を帯び始めます。働き始めて3年目というホールスタッフの根本愛美さんは、「仕事にも徐々に慣れました。たまには失敗もするけれど常に笑顔での接客を心掛けています。お客様からの『ありがとう、美味しかったよ』の言葉に支えられ頑張っています。」と明るい笑顔で語ってくれました。そんな根本さんを指導する料理長の斎藤義一さんは「根本さんは既に看板娘。もっともっとお客様にかわいがっていただけるよう成長して欲しい。」と優しく語ってくれました。

～就労支援の場としての一面～

そんな根本さんらが頑張るお店での仕事は、就労支援事業所といえども、お客様がお金を払って食事に来てくれるレストランである以上、妥協は許されません。研修生らの事故などアクシデントも禁物です。安全に配慮しながら、主に軽作業、調理補助などを経て実際にホールでの接客が出来るよう、じっくりと研修を受けながら働ける環境が用意されているのだそうです。「研修生もそれぞれに個性があり、研修に時間がかかることもよくあることです。その中でやりがいを感じさせ、仕事への達成感を与えながら仕事をして頂けるよう考え研修を行っています。」と斎藤料理長。レストランでの仕事を志す研修生も安心して仕事に臨めそうですね。

～万全の体制でバックアップ～

そんなビストロ・ラ・ポルト・アミは社会福祉法人 茨城補成会（茨城町）が運営。その茨城補成会は昭和40年に知的障害児施設「涸沼学園」を開設以来、一貫して障害者支援、障害者就労支援を行っています。乳幼児期から成人期にかけてトータルでのサポート体制を整えられていますが、特に成人期の就労支援の分野では、このビストロ・ラ・ポルト・アミでのレストラン経営のほか、就労支援事業所としてケーキ製作などの「スイーツ工房」、自立生活を支援する「はたらくガッツ村」などを運営し包括的な支援体制が整っています。

～就労支援の輪を広げて～

順風満帆な活動が続ける茨城補成会ですが「実はまだまだ道半ば。改善すべき点は山積しています」と理事長の檜山太一さん。「レストランにしても工房にしても単発で繋がりに欠ける感はありません。そこで今後はこれらをひとつの『まち』として複合化を図り、更なる包括的支援を目指したい。」と壮大な構想を語ってくれました。施設の敷地を超えて、地域と一緒に暮らしていく、そんな「まちづくり」「ひとづくり」を創っていく。素晴らしいその構想の実現に向け、ビストロ・ラ・ポルト・アミを始めとする茨城補成会の今後には是非期待したいと思います。



料理長の斎藤義一さんとホールスタッフの根本愛美さん



スタッフと研修生の皆さんの笑顔



将来の構想をお話しされる理事長の檜山太一さん



温かみのあるウェルカムボード

「ふくし」きりり人。



ふくもと れいな
福本 麗菜さん
特別養護老人ホーム うみべの家



今回の「ふくし」きりり人。」は、大洗町にある特別養護老人ホームうみべの家で、施設利用者の方々に対し、心配りと気遣いあふれる介護の仕事に取り組んでいる福本麗菜さんをご紹介します。

中学時代の職場体験で決めた「就職先」——

潮風が心地よく吹く、大洗の閑静な住宅地の一角にたたずむうみべの家は、主に80歳から90歳の方が多く利用される特別養護老人ホーム。海の街らしくイカリなど船をモチーフとするモニュメントの数々が敷地内に点在し、その雰囲気をもより一層醸し出している素晴らしい施設です。

そんなうみべの家と福本さんとの出会いは今か

ら8年ほど前の中学生の時。当時行われた「職場体験」でこのうみべの家を訪れ、とても楽しかった経験が忘れられず、その数年後、その思いを胸にこのうみべの家に就職を決めたというのです。就職の時期を迎え、福本さんの通う高校にはこのうみべの家からは求人票が届いてなかったそうなのですが、福本さんは高校の先生にうみべの家への就職のサポートをお願いし、経緯を知ったうみべの家側もそんな福本さんの熱い想いを汲み、相思相愛で採用が決まったそうです。

福祉の仕事にかかわらず、いろいろなきっかけとさまざまなご縁があり、今の職場と巡り会えたという方も多いのではないかと思います。しかし、福本さんほど運命的なめぐり逢いで職場を決めたと

嫌なことばかりじゃない、 『やってみなきゃわからない』



いう方はとても珍しいのでは、と感じさせられました。

温かい職場と親切なスタッフや 利用者さんに囲まれて——

その福本さんが勤務するうみべの家では、サービスの質という点に特に注意を払い日夜運営されています。「仕事の質にはこだわりたい」と話す入社3年目の福本さんも、周囲の協力とサポートに後押しされ日々成長を遂げています。

「当初は福祉の仕事に自信を持てなかった」という福本さんですが、初任者研修を受講して徐々に仕事への手応えを感じ取れるようになり、今ではプライドを持って堂々と仕事に臨む姿が日常となりました。

そんな福本さんですが、時に友人らと話をすると「少なからず福祉の仕事へのイメージのギャップを感じる」とのこと。「福祉というどうしてもネガティブな印象が強いのは仕方ないにしても、現状は決してそんなことばかりではない」と話す。人生の大先輩と接して得られる経験は何事にも代えがたい貴重なもの。「この仕事を考えている方々には是非挑戦をしてみたい。やってみると必ず印象が変わりますよ。」

プライベートも充実し、更なる飛躍へ——

そんな福本さん、外見も振る舞いもとても協同性豊かな女性で、いつも賑やかな輪の中心にいるというイメージを受けますが、お休みの日の過ごし方をお聞きしたところ、意外にも「独りの時間を大切にしています」というお答えでした。「職場も家庭もたくさんの人に囲まれている（笑）ので、お休みのときぐらい独りで買い物に行ったり、独りで音楽を聴いたりしてリラックスし、オンとオフの切り替えをしている」のだそうです。



「福祉の仕事に挑戦してみたい」と話す福本さん



少しずつ仕事にも自信が

最後に今後の目標はお聞きしたところ、「来年は実務経験が3年になるので、介護福祉士の資格取得をするために実務研修を受講したい。そして将来的には介護福祉士、そしてケアマネジャーにも挑戦して行きたい」と将来の夢を話す福本さん。「ただ中学時代に得た『楽しかった』経験、そこからスタートしたこの仕事への思いと決意は、今後も決して忘れないようにしたい」と語ってくれました。

初心を忘れず夢を実現する福本さんの姿が見れる日が楽しみです。

初心を忘れず夢を実現する福本さんの姿が見れる日が楽しみです。



人生の大先輩から学ぶこともたくさん



同じ職場の人たちとのコミュニケーションも欠かさずに



新型コロナウイルス感染症の流行により、社協の活動も従来どおりとはいかなくなりました。私が担当として訪問している地区においても、予定していた事業について、何とか実施できないものか、また、中止した事業の代替案などが真剣に話し合われました。

そのような場で、印象に残った言葉があります。「これらの行事は、やらなくても生きていけるが、やれば多くの人が喜んでくれ、次を楽しみにしてくれる。」というものでした。

しかしながら、やはり安全性の確保が難しく、ほぼ全ての年間行事が中止されることとなりました。

私事でも友人との約束、どうしても行きたかったコンサート、毎年開かれる高校のクラス会等々、例外なく幻となりました。

仕方がないことですが、「はずだったのに」という悔しさに駆られてしまいます。

ところで、高校時代の担任の先生は学問一筋という感じの若い国語教師でした。長年クラス会に参加してくれている先生は、定年退職を迎えた際に所有していた書物をすべて大学に寄贈し、カメラを携え様々な場所を訪ね、個展まで開いておられます。

それまでのものを全て手放して、違う世界に飛び込む姿に「こんな生き方もあるのだな」と感銘を受けました。

しばらくの間、再会は叶わないかもしれませんが、年々参加人数が増えているグループラインに時折、写真（作品！？）が送られてきます。季節を感じさせる草花や昆虫、空模様など... 先生からの無言のメッセージです。影響を受けたクラスメートからも虹や花などの写真が送られ、先生のアドバイスが返されたりします。何だか楽しそうです。

当時教わっていた古文の内容は全く思い出せませんが、折に触れ当時の他愛もない日常や珍事、そのまま歳を重ねていたら完全に忘れ去っていたような自身のことが蘇ります。

今後しばらくは、「はずだった」ことにも心を寄せ、それらが戻ってくる日を待ちたいと思います。それと同時に、何か新しいことを始めてみたいとも。デジタル一眼レフなど良いかも！！

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償！！

令和2年度

ボランティア活動保険

全国200万人
加入！！

保険金額・年間保険料（1名あたり）

保険金の種類		基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額	6,500円	
	手術 入院中の手術	65,000円	
	保険金 外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円	
賠償責任	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)	
	年間保険料	350円	500円

団体割引20%適用済／過去の損害率による割増引適用

＜基本プランに加入される方へ＞

基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。

◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。

※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

商品パンフレットは
コチラ
(ふくしの保険ホームページ)



ボランティア行事用保険

送迎サービス補償

福祉サービス総合補償

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約傷害保険、賠償責任保険)

(傷害保険)

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03 (3349) 5137
受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)
損保ジャパン日本興亜は、関係当局の認可等を前提として、2020年4月1日に商号を変更し、「損保ジャパン」になります。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03 (3581) 4667 FAX: 03 (3581) 4763
営業時間: 平日の9:30~17:30 (12/29~1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

INFORMATION

募集

**広報誌・ホームページに
広告を掲載してみませんか！**

県社協では、広報誌及びホームページの広告を募集しています。

■広報誌「いばらきの社会福祉」広告

・広報誌の概要

発行時期：年4回

発行部数：7,000部

配布先：県、市町村社協、県内福祉施設、県内福祉団体、公民館、銀行等

・規格（1区画）：

縦 5.2cm × 横 8.75cm

・料金（1区画）：

20,000円（税込）

■ホームページバナー広告

・規格（1枠）：

縦 50ピクセル × 横 160ピクセル

・料金（1枠3か月）：

30,000円（税込）

・掲載場所：

県社協が指定した位置

■広告の申込方法

県社協ホームページ「広告の募集について」に掲載してある要項等をご確認のうえ、お申込みください。

問 総務企画部（広報担当）

TEL：029-241-1133

募集

**本会会員を
募集しています！**

県社協の趣旨・目的にご賛同いただける会員の方を広く募集しております。

会員の皆様からいただいた会費は、県内の地域福祉向上のために活用させていただきます。

■会員種別

・正会員

県社協の趣旨・目的に賛同する社会福祉施設及び社会福祉団体等

・賛助会員

県社協の趣旨・目的に賛同する個人または団体等

■会費

県社協の規程に従い所定の会費を納入して頂きます。

■会員特典

①県社協が実施する「社会福祉事業従事者研修」について、一部の研修を除いて、受講料が非会員に比べて2,000円/1日安くなります。

②民間社会福祉施設職員等退職手当支給制度に加入できます。

問 総務企画部

TEL：029-241-1113

募集

**きずなBOX
設置しています！**

生活困窮者支援団体等への安定的な食品確保のため、NPO法人フードバンク茨城と連携し、茨城県総合福祉会館の1階に「きずなBOX」を設置しています。

家庭で余っている食品などを「きずなBOX」に持ち寄っていただき、集められた食品などをフードバンクが回収し、福祉団体や施設、市町村社協を通じて生活困窮家庭などに配分しています。

引き続き、皆様のご協力をお願いいたします。



* 食品は常温管理できるもので未開封、賞味期限が2か月以上残っているもの

* 生活困窮者への支援に必要な、缶詰・レトルト食品などすぐに食べられる「おかずになる」食品が不足しています。

茨城県総合福祉会館 ご利用案内

茨城県総合福祉会館では、来館者の皆様に安心してご利用いただけるよう、新型コロナウイルス感染予防として、入り口及びトイレ前に手指消毒液を設置するとともに、館内清掃を強化しております。

また、各種研修室は一般の方にも貸し出しを行っておりますので、お気軽にお問合せください。

なお、駐車場の混雑状況はホームページでご案内しておりますので、ご来館の際の参考としてください。

茨城県総合福祉会館

検索

〒310-3851 水戸市千波町1918 TEL029-244-4545 FAX029-244-4548



わかち合おう小さな善意 ～みなさまからのあたたかい支援をご紹介します～

< 令和2年7月～令和2年9月善意金等の預託と払い出し状況 > (敬称略)

善意金

預託者名	金額 (円)
第一三共株式会社	200,000
茨城県遊技業防犯協力会	1,500,000
(株)ライズ	2,034
合計	1,702,034

交通遺児福祉基金

預託者名	金額 (円)
(一財) 関東陸運振興センター	1,000,000
合計	1,000,000



茨城県遊技業防犯協力会



(一財) 関東陸運振興センター

善意品

預託者名	善意品	払出先名
いばらきコープ生活協同組合	子ども用紙おむつ 222 袋、大人用紙おむつ 33 袋、粉ミルク 40 缶、おしりふき 4 パック	県内社会福祉施設等
(株) セブン-イレブン・ジャパン	食料品・日用品等	八千代町・土浦市・つくば市・笠間市 ひたちなか市の各社会福祉協議会

使用済み切手・使用済みテレホンカード等

預託者名		
茨城労働局労災補償課	弘陽電機株式会社	(一社) 茨城県自動車整備振興会
常陽ボランティア倶楽部	鳴門市鳴門西小学校6年生	茨城トヨタ自動車株式会社
水戸緑岡郵便局	アズビル(株)ビルシステムカンパニー茨城支店	損保ジャパンパートナーズ株式会社
小貝保育園	浅野 雄太	
茨城県保健福祉部 長寿福祉推進課、健康・地域ケア推進課		
社会福祉協議会(日立市、城里町、ひたちなか市、北茨城市、神栖市、守谷市、坂東市、小美玉市、土浦市、取手市、石岡市、龍ヶ崎市、桜川市、常陸太田市、美浦村)		

いばらきの社会福祉

Social Welfare of IBARAKI

〒310-8586 茨城県水戸市千波町1918

TEL:029-241-1133(代)

FAX:029-241-1434

ホームページ <https://www.ibaraki-welfare.or.jp>

Facebook <https://www.facebook.com/ibarakikenshakyo>

E-Mail ibashakyo@ibaraki-welfare.or.jp

発行者／社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会